

登録速報

農薬名：キクトモ1キロ粒剤（登録番号：第23335号）

適用拡大登録月日：平成27年7月8日

適用拡大登録内容：

- 適用土壌、適用地帯の区分を廃止する。それに伴って、適用雑草名「ウリカワ(北陸、近畿・中国・四国、九州)」を「ウリカワ」に、「アオミドロ・藻類による表層はく離(北陸、関東・東山・東海)」を「アオミドロ・藻類による表層はく離」に変更する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで	1kg/10a	1回	湛水散布
		移植時			田植同時 散布機で施用

カフェンストロールを含む農薬の総使用回数	ジメタメトリンを含む農薬の総使用回数	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
1回	2回以内	3回以内 (育苗箱散布は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内

注意事項の変更：

【削除事項】

- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないこと。

【変更後】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生始期までが本剤の散布適期である。

- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなうこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなうこと。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、入水は静かにおこなうこと。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - 異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
 - 砂質土壌の水田および漏水田（減水深が2cm/日以上）
 - 軟弱苗を移植した水田
 - 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
 - 植穴の戻りの悪い水田
 - 極端な深水
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけること。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないこと。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意すること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以 上